



一社) 全国食支援活動協力会 専務理事 平野覚治





全国食支援活動協力会とは

1986年高齢者配食サービス・会食会の
連絡組織として設立しました。



全国各地で食支援活動を展開する市民活動団体の自主性
と相互扶助を尊重し、活動団体のサポートを通じてあら
ゆる世代の豊かな食環境の整備をめざします。

地域福祉と健康の増進に向けて、横断的で学術的な視点
をもって産官学民のネットワークを推進し、豊かな地域
福祉社会づくりに貢献します。



子どもの貧困（体験や交流を含む）と向き合うこども食堂等居場所を支えるためのサポートセンターのモデル化

こども食堂等居場所への支援を展開することで、活動団体の運営を支え、当該地域における子どもの健やかな成長等に貢献することを目指す。こども食堂の立ち上げ支援や、運営のサポートや地域資源との連携強化などを行うことでソフト面を支援するためのプロジェクト。

想定する事業活動

相談支援
研修

活動環境の整備
行政との連携

こども
食堂

子どもの居場所
ネットワーク形成

情報発信
ニーズ調査

コロナにより…

食品の寄贈マッチング
食料支援のニーズ大
運営継続の不安大



非資金的
支援

運営ガイドブック類の提供
モデル事例の紹介／研修開催支援
支援のルート開拓・企業との連携強化

実行団体

寺子屋方丈舎
こどもの居場所サポートおおさか
コミュニティシンクタンク北九州
那覇市社会福祉協議会

コロナ禍で、企業・居場所からいただいた3つの声からMOWLSが始まりました。

【1】

余剰食品を全国の居場所に届けたいけど、22か所までしか運送費は持てません。

【2】

北海道や沖縄には輸送コストの理由からなかなか企業からの寄贈品が届きません。

【3】

コロナ禍でお弁当配布などに切り替えると、食材コストが今まで以上にかかって大変です。

全国の食を通じた居場所へ寄贈品を届けるために、全国各地のネットワーク団体と連携し、企業からの寄贈のハードルを低くできないか

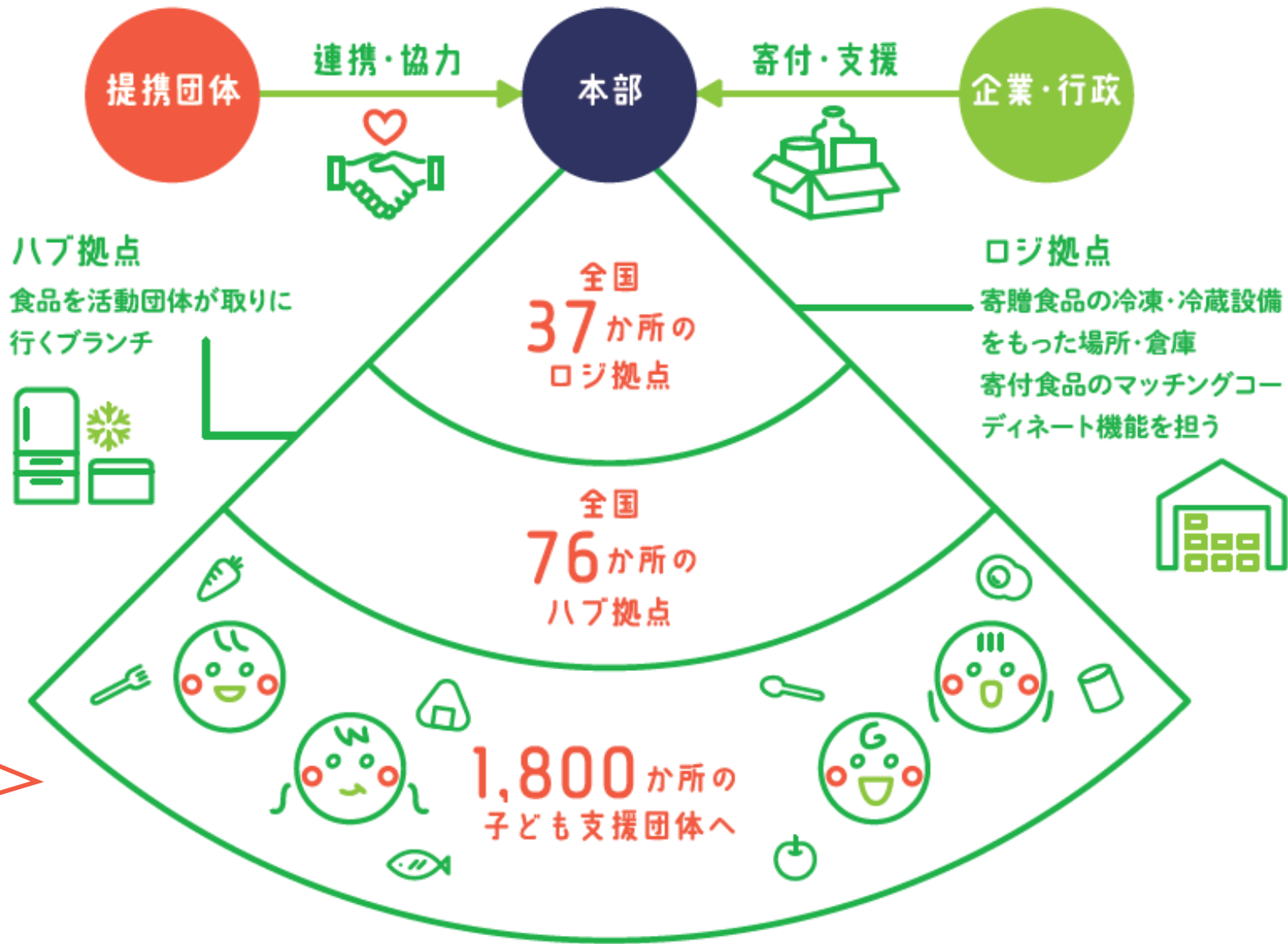
物流 × ストック × シェア

MEALS WHEELS

ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム

全国のこども食堂等「居場所」 に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境づくり

物流×ストック×シェア
MEALS
WHEELS
ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム



『MOWLS』を通じて支援する子どもの居場所

無料または数百円で子どもたちに食事を提供×地域で子どもを見守り、
育てていくコミュニティの場

2016年以降、**子どもの貧困が全国的に問題**となり、地域住民が自発的にこども食堂を開設し、子どもの食に対する支援の輪がひろがりました。生きることの基本である「食べること」を担うこどもの居場所を舞台に、さまざまな善意が持ち寄られ、こども食堂は成り立っています。2012年に東京都大田区の八百屋の一角で始まった「だんだんワンコインこども食堂」代表 近藤博子さんが初めて「こども食堂」という名前を使用し、全国的に広がりを見せました。

無料・低価格の食事の提供

貧困世帯だけでなく、誰でも利用可能

現在は約5,000か所(2021)
(2016年は約300か所)

子どもの変化を発見しやすい場

制度外の存在

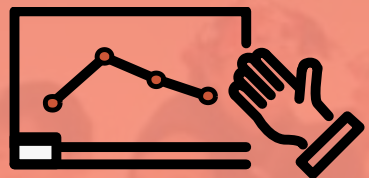


学習・体験機会の提供が可能

誰でも始めることができる

多様な形態で運営されている





コロナ禍における子どもの居場所の課題と現状

- ✓ 約半数が年間予算規模50万円未満で活動
- ✓ フードパントリー活動がコロナ禍以後急速に普及
- ✓ 補助をもらっていても単年度が多く、持続可能性に不安を抱えている
- ✓ 活動頻度は月数日が多く、常設の拠点をもつ団体が少ない

企業のSDGs/CSR活動のご担当者の皆様、こんなこと感じていませんか？

物流コストを抑えて届ける方法はないだろうか

こども食堂に寄贈したいけど、
どの団体にあげたらいいんだろう
転売や不正利用が心配

当社は冷蔵冷凍品が主流だけど、
受け取ってくれるところはあるのだろうか
衛生管理は大丈夫だろうか・・

できるだけ手間をかけずに、
寄贈ができたらいいのに・・

子ども達は喜んで当社の
商品を食べてくれてただろうか

『MOWLS』で実現できます！

企業と全国の食を通じた居場所をつなぐ分配機能

1. 全国の居場所に届けることができます。寄贈の申し出をいただければ、配送希望エリアに応じて、当会が分配を引き受けます

三温度帯対応の全国ネットワークはMOWLSだけです

2. 常温品に限らず冷凍・冷蔵品の寄贈も対応できます

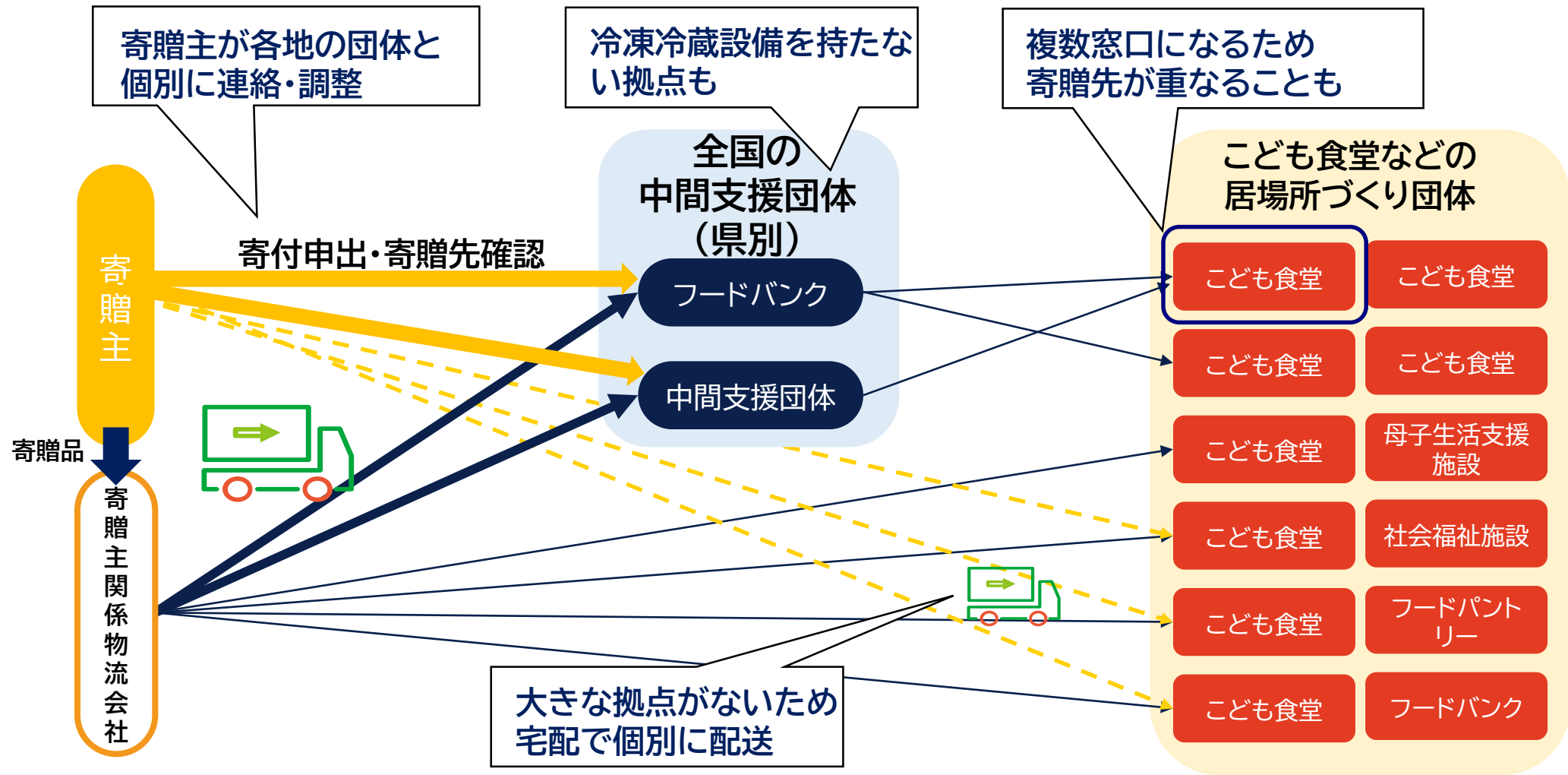
【安心・安全】食品取扱の注意喚起・合意を都度チェックします

3. 不適切な食品の取扱いを防ぎ、寄贈者・受取団体ともに事故から身を守ることができます

WEBシステムを使った業務効率化

4. 宅急便等の個別配送や納品日の確認作業などの調整の手間がかかりません

従来の寄贈の流れ



課題 (Issues)

寄贈にかかる「各種調整の手間」「配送コスト」が大きい

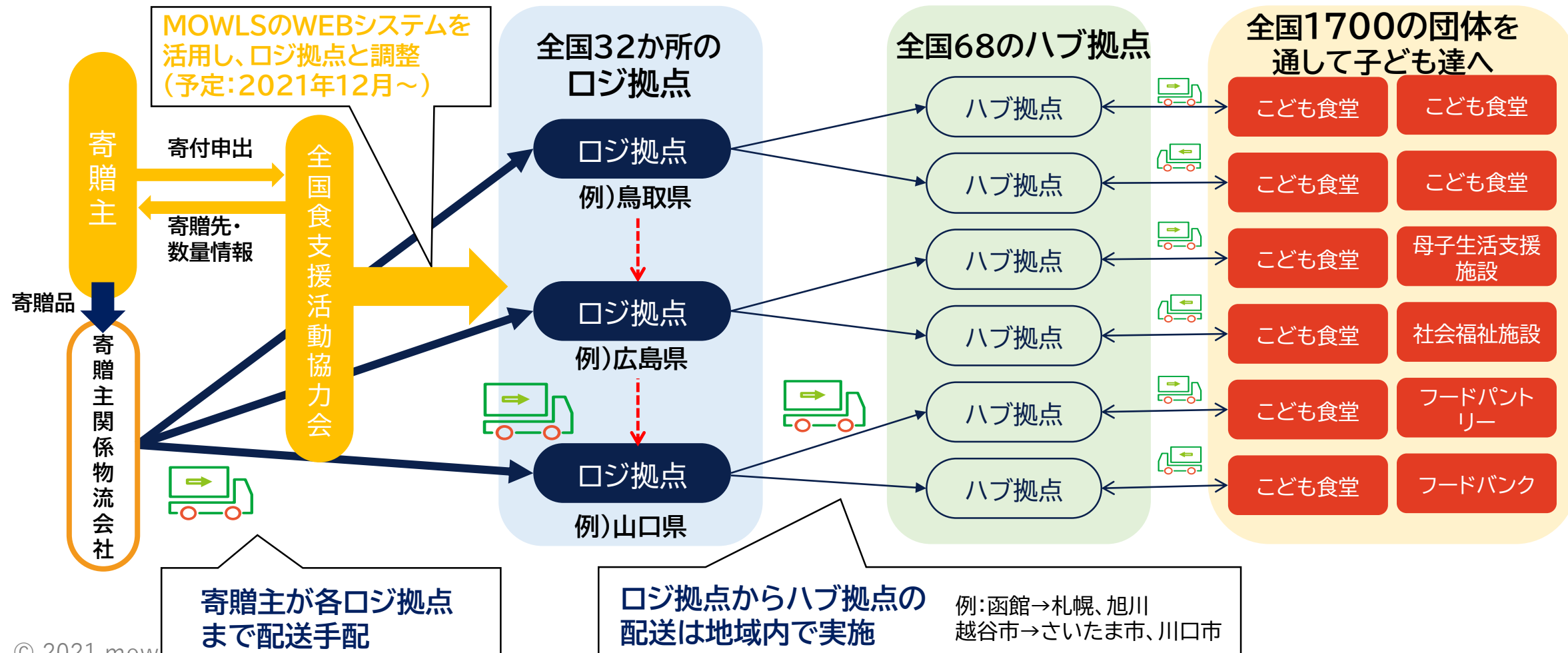
MOWLSの仕組み



ロジ拠点：
大量の寄贈食品の保管機能をもった場所・倉庫
常温・冷蔵・冷凍の3温度帯に対応



ハブ拠点： ロジ拠点の支店
活動団体が行きける距離に設置された、
冷凍・冷蔵設備を有する拠点



MOWLS 寄贈の受付から分配までの流れ

ステップ1

寄贈商品の ①数、②賞味期限、③寄贈期限、④希望配送エリア（数）などをM.O.Wへご連絡いただく

ステップ2

M.O.Wが希望に応じた「ロジハブ拠点別 商品受入れ数（一覧）」を調整・提出

ステップ3

拠点先までの配送手配、納品日をM.O.Wへご連絡いただく

当会より、各圏域のコーディネーター及び拠点へ納品日を通知

ステップ4

各ロジ拠点・ハブ拠点がこども食堂団体へ受取可能日を連絡

適切な保存方法
寄贈の広報可否通知
転売防止への同意

ステップ5

M.O.W経由で、商品を受け取ったこども食堂の声や画像を提供
社内外への情報発信にご活用ください

寄付分配・配送のためのWEBシステムでできること



1. 寄贈主は、1)寄贈品情報の入力、2)配送先の承認手続き、3)出荷手続きをWEB上で行っていただくことができます
2. 寄贈食品をどの団体が・いつ受け取ったのか、最終的に何団体に提供できたのかを確認できます
3. 活動団体からのレポートを閲覧いただくことができ、社内・社外広報等への活用可否を確認いただけます
4. 対象期間を設定し、寄贈の実績を出力することができます

寄贈主

寄付申出

全国食支援活動協力会

配分決定・受入依頼

コーディネーター①
XXX

コーディネーター②
XXX

配分決定・受入依頼／全体の情報管理

情報・品物の流れは
WEBシステムで解決

倉庫→ハブ拠点間の輸送
支援にご協力いただける
事業者様を探しています

寄贈主が倉庫(ロジ拠点)
までの物流を手配

区域を超えた
シェア倉庫@
○○

区域を超えた
シェア倉庫@
○○

区域を超えた
シェア倉庫@
○○

区域を超えた共有倉
庫があれば、大きな寄
贈の受入れが可能に

分配調整(市社協)

市社協

市社協

母子生活
支援施設

企業

農協

福祉施設

フードバ
ンク

配分決定・受入依頼

県内のこども食堂等居場所へ

米国食肉輸出連合会

冷凍食肉の寄贈

提供食品量

牛肉1060kg
豚肉1,440kg



配布団体数

33ロジ

を通じて全国の居場所へ



効果

子ども達へ豊かな食の体験機会を提供 + こども食堂の運営を支援

キューピーみらいたまご財団

調味料の寄贈

提供食品量

キューピーハーフマヨネーズ
パスタソース
各3,000個



配布団体数

534ヶ所

のこども食堂等居場所へ





安心できる“居場所”を。地域と子どもたちの未来のために。



子ども達が体験を通じて学び、生涯にわたる健康状態の改善に貢献。



各セクターの強みを生かしたコレクティブインパクトの創出。

長崎 佐賀 福岡 大分 山口 島根 鳥取 兵庫 福井 長野 群馬 栃木 茨城 埼玉 東京 千葉 山梨 岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 奈良 和歌山 徳島 香川 愛媛 高知 福岡 佐賀 大分 熊本 宮崎 鹿児島 沖縄

『MOWLS』を通じて、誰もが笑顔になれる社会を 一緒に作りませんか。

地域の食支援活動を
応援しています

コロナ禍においても活動を
続けることも食堂、配食団体
フードバンク、母子生活支援など
の食を通して地域の居場所
活動を応援しています。

※参考※ フードバンクの平均的な提供トン数 34トン(2018)
公益財団法人流通経済研究所「フードバンク実態調査事業」より

食品提供企業

21

社・機関

食品提供量

452

トン

連携団体エリア

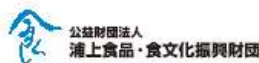
25

都道府県

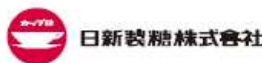
各地域のネットワークによる**全国への食糧支援**の取組として農水省
HPに掲載いただいています



メディアリアルホールディングス



NARUMIYA
INTERNATIONAL



YAHOO! ネット募金



全国共通の課題

物流



配送トラック
(イメージ)

- ・物流会社様による戻り便や
アイドルタイム
を活用した運搬
- ・月1回のルート配送
- ・空きスペースを活用し、荷物を混載

倉庫(ストック)



例:クラレイ株式会社様
冷凍品の受け入れにて協力

- ロジ拠点必要機能**
- ・10トントラックOK
 - ・フォークリフトOK
 - ・パレット卸OK
 - ・大型の保管施設/
大型の冷凍冷蔵庫

例:DENBA株式会社の
技術を活用したコンテナ
冷蔵庫

- ハブ拠点必要機能**
- ・4トントラックOK
 - ・冷凍冷蔵設備



人手(シェア)



- ・食品の期日管理/品質管理
- ・食品受取希望者への対応
(場合によっては配送)

全国に食品を届けるべく、説明会や学習会を開催しています

目的

企業・行政・活動団体がゆるやかに連携することで、持続可能な活動となることを目指します

内容

- ・全国的な食料支援の取り組み状況の説明
- ・各自治体や民間機関・団体による好事例の共有
- ・グループディスカッション
- ➡広域的な食支援ネットワーク整備の課題に対する意見交換
- ➡官民連携による支援企業への働きかけの場を促進



11/9 日本ロジスティクスシステム協会@東京



2021年7月19日号 物流ウィークリーへの掲載

対象

行政・社協等対象地域の物流支援等に関心のある企業
食支援活動を支援する中間支援団体・フードバンク ほか

開催予定

1月31日 徳島
2月1日 愛媛
2月9日 北海道

各地域のネットワークによる全国への食料支援の取組（（一社）全国食支援活動協力会）

として紹介していただいています。

- ✓ 全国25都道府県37拠点に寄附食品を受入・保管できるロジ拠点を整備し、約1,800ヶ所の食支援団体へ食品を提供できる体制を整備。拠点の設備は常温・冷蔵・冷凍に対応。
- ✓ 企業からの寄附食品を、量を集約して卸せるようにすることで配送を効率化し、費用を軽減。
- ✓ オンラインで寄贈申請可能な寄付情報システムの運用が始まります！



NO-FOODLOSS PROJECT

○ 全国食支援活動協力会において全国の企業等からの寄附相談を一括で受け、各地域への寄附を調整

